

関東近県 SSH 指定校合同発表会



関東近県の SSH 指定校 25 校 500 件を超える研究発表に本校 SS I、II の生徒全員が参加しました。以下は口頭発表、ポスター発表に参加した生徒の感想を紹介します。



○今回が最後の研究発表ということでせつぱくならやってみよう！と初めての口頭発表に挑戦しました。発表を通して2年間の SSH 活動の振り返りができ、これまで以上に研究を上手く伝えることができました。また、他校の方とも交流する機会が増え、新たな考えや他の研究とのつながりを見つけられるいい経験となりました。SS 化学として研究をすることは無くなりましたが、今後も SSH で身につけた力を活かして何事も全力で取り組んでいきたいです。(SSII 化学)

○今回の研究発表会において、他校の生徒との交流が最も印象に残った。TSS などでは専門的な方に発表を見て頂くことが多かったが、今回は同じように研究活動に取り組む高校生に発表を見て頂くことができ、今後の活動のモチベーションに繋がった。私の発表を見てくれた高校生が「来年もまた見に来ます。」と言ってくれたことが特に印象深かった。来年の今頃、今よりも良い発表ができるよう研究活動に励みたいと思う。(SS I 地学)

○今回の関東近県 SSH 指定校合同発表会では、圧倒的に参加学校数も人数も多く、数え切れないほどの種類のテーマがありました。そのため、今までの発表の場では見つからなかった、自分の研究を進めるにあたって参考になる研究を見つけることが出来ました。ほかの発表を聞くことで、自分の実験で何が悪かったのか知ることができ、今後の研究活動に活かせる情報をたくさん得ることが出来ました。また、自分の研究を発表することからも、得られたことがありました。今回は参加人数が多いため、自分の研究を聞きに来る人も多く、質問をしてくださる方もたくさんいました。発表を通して、自分のポスターの分かりにくい部分や自分の説明が十分では無い部分を知ることが出来ました。あと1年、今までの研究発表の場で学んだことを活かし、自分の納得のいく研究をしていきたいです。(SS 化学)

